



# 十年ひと昔

と云うけれど……

心躍らせ「来る二十一世紀」、二十一世紀の幕開け」と記念すべき時代の節目を祝ったのもついでのこと、今では200X年の呼称にもすっかり慣れ、また新しい百年の歴史を毎日刻んでいる。

十年ひと昔というけれど、高度経済成長期〜経済安定・バブル期〜経済破綻期?と上り坂あり、峠あり、下り坂ありのこの三十年間を、北日本新聞から富山の主な出来事を十年ずつさかのぼり懐かしんでみよう。

まず、記憶に新しい一〇年前の

## 1994年のひと昔

### ▼水王国 猛暑に勝てず

七月一三日に梅雨が明けてから県内は猛暑に見舞われ、雨の降らない日が続いた。このため県西部では水不足が深刻化し、給水や断水制限が相次いだ。八月一四日にはフェーン現象により高岡市で39.1度、富山市で38.9度と観測史上最高(当時)を記録、真夏日は六四日間に及んだ。農作物への被害も大きく、野菜が急騰した。

※沢川地区で断水(福岡町)

### 大根など野菜 秋以降に影響

## 水王国 猛暑に勝てず



沢川地区の配水池に給水する職員＝福岡町



富山ーウラジオ便就航を祝って中沖知事ら多くの関係者がテープカット＝富山

## 富山ーウラジオ便 就航

毎金曜 富山発

▼富山ーウラジオ便・富山ー福岡便が就航  
七月二五日、富山ーウラジオ便、十一月一日、富山ー福岡便が就航した。

▼富山総体開幕  
七月二三日、県総合運動公園陸上競技場に皇太子夫妻を迎え、平成六年度全国高校総体育大会(富山インターハイ)が立山にえがけ大きく君の青春をスローガンに開幕した。

▼強風で死者・不明3人  
四月一、二日県内は台風並みの低気圧に襲われ、富山市で最大瞬間風速37.8m/sを記録、富山地方気象台観測史上二番目(当時)の強さとなり、トラックが横転するほどで、一人死亡、二人が行方不明となった。

【国内ニュース】  
●全国的に記録的猛暑、空前の渇水被害。  
●名古屋で中華航空機事故、二六四人死亡。  
●円初の二けた(96.4円)、価格破壊、空洞化広まる。

次に二〇年前

## 1984年のひと昔

▼富山空港ジェット機就航  
三月一四日に富山空港のターミナルビルが完成し、十八日朝に東京からの第一便として全日空のボーイング737型機(二二六人乗)が着陸、七月二二日からは第二便にボー

イング767型機(234人乗り)が就航した。これまでのYS11型機に代わって、空も高速時代を迎えた。この日、初の国際チャーター便が香港へ向けて出発した。

▼県内の平野部積雪1cm突破  
一月上旬から断続的に雪が降り続き、県内は第一級の寒波に襲われ、魚津一三五、富山一〇、砺波二〇三と平野部でも一cmを突破した。富山市の降雪累計は三八豪雪を上回る六九四cmだった。

▼今夏の猛暑 高記録ラッシュ  
今夏の富山県内は、熱波に襲われ、真夏日連続のほか平均気温や降水量などに富山気象台史上五位以内の記録が相次いだ。

▼さようなら 山室線  
富山市の市内軌道内、西町一不二越間1.4kmの山室線は三月二二日限り廃止された。

【国内ニュース】  
●グリコ・森永脅迫事件。  
●千円、五千元、一万元の新札発行



モールなどで飾られた最後の電車を利用する乗客ら＝富山市西町

## 1974年のひと昔

▼富山・高岡バイパス 6年ぶり全面開通  
国道8号の富山・高岡バイパス(現国道8号)は一九六八年から工事が進められ、部分開通していたが、二月一七日に富山市金泉寺一高岡市四屋間2.48kmが片側二車線ながら全線開通。これまで8号(現県道富山高岡線)を走っていたトラックなどがバイパスを利

用するようになり、交通渋滞が緩和された。

▼スクランブル渡り初め  
八月一日から県内初のスクランブル交差点が富山西町と上木町に登場。斜め横断も自由にできる反面、信号待ち時間が長くなったという声があったが、次第に定着していった。

▼集中豪雨、県内を襲う  
七月九日夜からの集中豪雨によって県内の河川が増水、堤防の決壊で田畑や家屋が浸水する被害が続出。福光町で山崩れ、氷見市で橋が流失した。

【国内ニュース】  
●田中首相の金脈退陣、三木政権登場。  
●ルパン島から小野田さん帰国。  
●ゼロ成長で倒産、失業多発。

【参考】

豪雪・1963(三八)	1976(五一)
1977(五二)	1981(五六)
1984(五九)	1985(六〇)
1986(六一)	1976(五一)
1974(四九)	1985(六〇)
1982(五七)	1985(六〇)
1988(六三)	1988(六三)
1994(H六)	1998(H一〇)

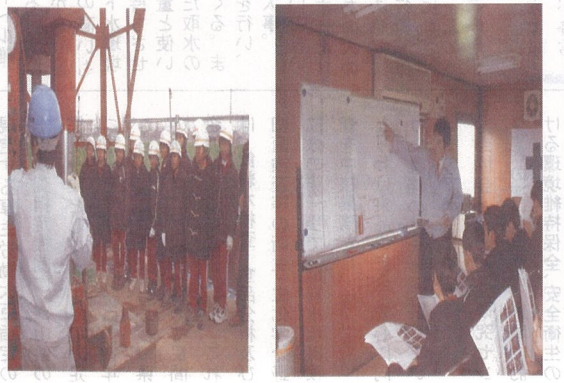


好天に恵まれた8号線バイパスの全線開通。午後2時一般車開放から大型車種が目に見えて増えた＝富山市豊田

たしかに十年ひと昔というように、私達をとり巻く環境、交通、生活、文化は十年でみるみる、見事に進化し便利になっている。しかし、一方自然はその力を豪雪・豪雨・暴風にかえ、定期的に同じように私達に脅威を繰り返している。私達に何か警鐘を打ち鳴らしているのは……

## 温泉井戸掘削現場にて校外学習を開催

平成16年3月9日(火)、新湊市鏡宮地内の(株)東施工による温泉井戸掘削現場において、新湊市南部中学校の生徒の校外学習を開催した。生徒は3班に分かれ、約1時間にわたり貴重な体験学習の機会を得た。最初に、(株)東事務取締役 土合氏をはじめ他の技術専門員により温泉井戸の掘削工事の方法や温泉成分等についてわかりやすく説明があった。その後、ぐららの掘削機械や汚水循環設備、電気検層の機器を搭載した電気検層車等を実際に見学した。最後に質疑応答の時間が設けられ、校外学習は終了した。



## 編集後記

今回は「井戸の日」記念フォーラム2004の記事を中心に掲載させていただきました。「井戸の日」も今年で4回目を迎え、ますますパワーアップしてまいりました。皆様のお陰で、「井戸の日」記念フォーラムを無事終了できましたことを、会員一同深く感謝申し上げます。総務部会